



平成 25 年 11 月号



概況

最近の県内経済は、緩やかながら全体に持ち直しの動きが続いている。

まず、個人消費関連をみると、大型小売店販売は3ヶ月連続のマイナスとなった。自動車販売は登録車がマイナスとなったものの、届出車が大幅プラスとなり、合計では9ヶ月ぶりのプラスとなった。

住宅建設は持家、貸家、分譲住宅が増加し、全体では7ヶ月連続のプラスとなった。公共投資は県が増加したものの、国、独立行政法人等、市町村が減少し、2ヶ月連続のマイナスとなった。

生産関連の動きをみると、鉱工業生産指数は前月比6.7%上昇の107.2となった。25年県産リンゴ販売は県外出荷量が増加したものの、消費地市場価格が低下し、県外市場販売額は減少した。八戸港水揚げは魚価上昇により金額がほぼ倍増となった。

この間の雇用情勢は、有効求人倍率が前月比0.02ポイント低下の0.68倍となったものの、新規求人数が8年1ヶ月ぶりに1万人を超えるなど、県内全域で雇用状況の改善が続いている。

個人消費 9月の**大型小売店販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比1.1%減と3ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同1.4%減、スーパーが同1.0%減となった。9月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比12.4%増の5,702台と9ヶ月ぶりのプラスとなった。登録車が同3.2%減と9ヶ月連続のマイナスとなったものの、届出車は同32.9%増と4ヶ月連続のプラスとなった。

住宅投資 9月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比6.0%増の688戸と7ヶ月連続のプラスとなった。持家が同5.9%増、貸家が同8.5%増、分譲住宅が同9.1%増となった。

公共投資 9月の**公共工事請負額**は全体で前年同月比8.7%減の243億6,500万円と2ヶ月連続のマイナスとなった。県が同6.1%増となったものの、国は同34.0%減、独立行政法人等は同84.7%減、市町村は同12.9%減となった。

一次産業 農林水産省東北農政局の調査によると、**25年産水稻**の県平均作柄(9月15日現在)は10a当たりの予想収量が610kg、作況指数は104と見込まれている。9月の**25年県産リンゴ販売**は県外出荷量が前年同月比17.3%増となったものの、消費地市場価格が同17.4%低下し、県外市場販売額は同2.3%減となった。9月の**八戸港水揚げ**は数量が前年同月比16.2%増、金額は魚価が上昇したことから同96.4%増とほぼ倍増となった。

生産活動 8月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は前月比6.7%上昇の107.2となった。原指数では前年同月比1.1%上昇の107.0となった。一般機械、鉄鋼、電気機械、化学で前月比2ケタの伸びがみられ、全体を押し上げた。

一 次 産 業

米

25 年産米、作況指数は「104」

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の平成 25 年産水稻の県平均作柄(10月15日現在)は、作付面積(子実用)が 4 万 9,600ha、予想収穫量が 30 万 2,600 トンとなり、10a 当たりの予想収量は 610kg、作況指数は「104」と見込まれている。4 月から 5 月下旬にかけて気温が平年を下回って推移したものの、6 月以降は回復がみられ、穂数は「平年並み」となった。1 穂当たりのもみ数は「やや多い」となり、全もみ数は「やや多い」となった。また、出穂期以降は高温・多照で推移し、登熟は「平年並み」と見込まれている。

作柄表示地帯別に 10a 当たりの予想収量と作況指数をみると、青森地帯が 603kg の「106」、津軽地帯が 638kg の「105」、南部・下北地帯が 556kg の「103」と、いずれも平年を上回ると予想される。

25年産水稻の作柄概況(10月15日現在)

作柄表示地帯	作付面積(ha) (子実用)	予想収穫量(t) (子実用)	10a 当たり (kg)		穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数 の多少	登熟の良否	作況指数
			予想収量	平年収量					
県全体	49,600	302,600	610	584	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	104
青森地帯	-	-	603	570	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	106
津軽地帯	-	-	638	609	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	105
南部・下北地帯	-	-	556	540	少ない	多い	やや少ない	良	103

(注) 穂数の多少、もみ数、登熟の良否は平年比較
資料出所: 東北農政局

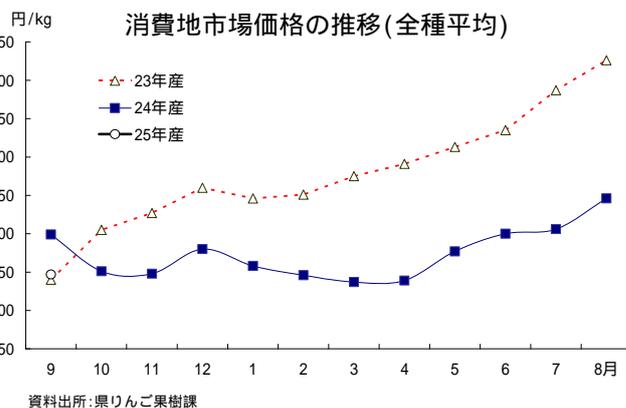
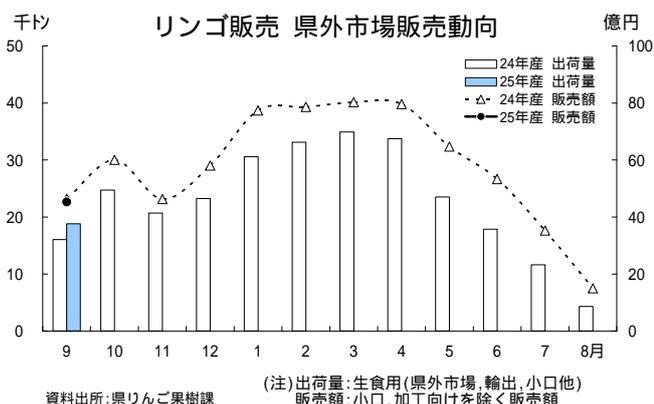
りんご

25 年産リンゴ販売、消費地市場価格はほぼ平年並みでスタート

25 年県産リンゴ販売、9 月の県外出荷量は前年同月比 17.3%増の 1 万 8,836 トンとなった。これは前 3 ヶ年の 9 月平均出荷量を 0.7%上回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比 19.3%低下、前 3 ヶ年比較で 14.8%低下の 138 円/kg となった。一方、消費地市場価格はこの時期主力の「つがる」が前年同月比 17.8%低下、前 3 ヶ年比較で 10.4%低下の 249 円/kg となり、合計では前年同月比 17.4%低下、前 3 ヶ年比較で 10.8%低下の 247 円/kg となった。この結果、県外市場販売額は前年同月比 2.3%減、前 3 ヶ年比較で 8.8%減の 45 億 3,000 万円となった。

25 年産県産リンゴの市場価格は、品薄で高値だった前年に比べ低下したが、品質が良好で引き合いが強いことから前 5 ヶ年中庸 3 ヶ年平均*との比較では 1.2%上昇とほぼ平年並みでスタートした。

* 同月の過去 5 ヶ年の中庸 3 ヶ年平均値であり、過去 5 年間継続して数値のあるものについて算出。



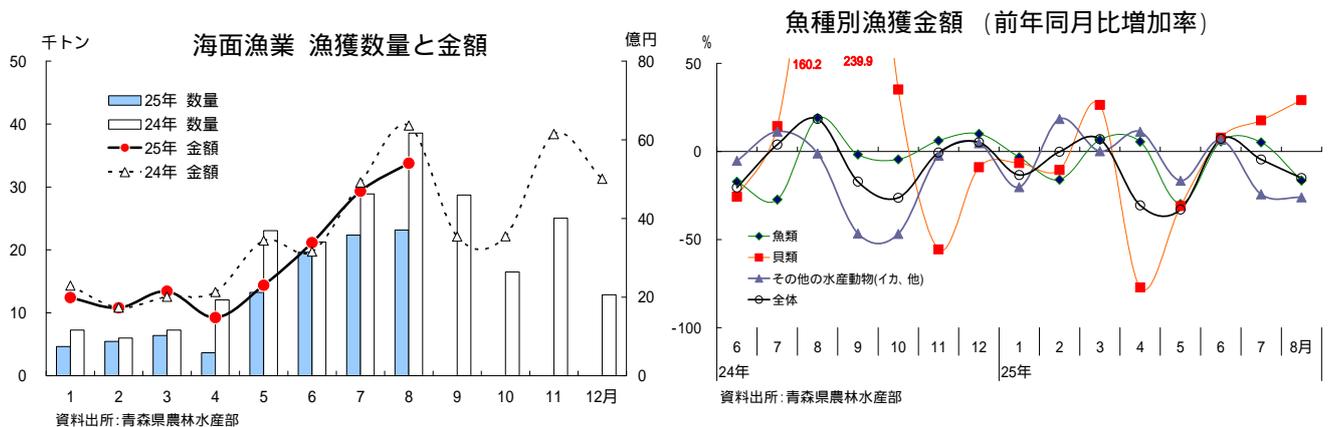
海面漁業

8月の漁獲数量、前年同月比40.0%減

8月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比40.0%減の2万3,152トン、漁獲金額は同15.1%減の54億304万円となった。

主な魚種別にみると、「魚類」は数量が前年同月比55.5%減の7,105トン、金額が同16.5%減の15億6,346万円となった。サバの水揚げが約6割減となり全体を押し下げた。一方、魚価の上昇から金額は同16.5%減にとどまり、15億6,346万円となった。

「貝類」は数量が同0.4%増の8,549トン、金額が同29.1%増の14億5,717万円となった。イカなどの「その他の水産動物」はスルメイカ、アカイカが大幅に落ち込み、数量が同45.7%減の7,245トン、金額が同26.1%減の23億865万円となった。

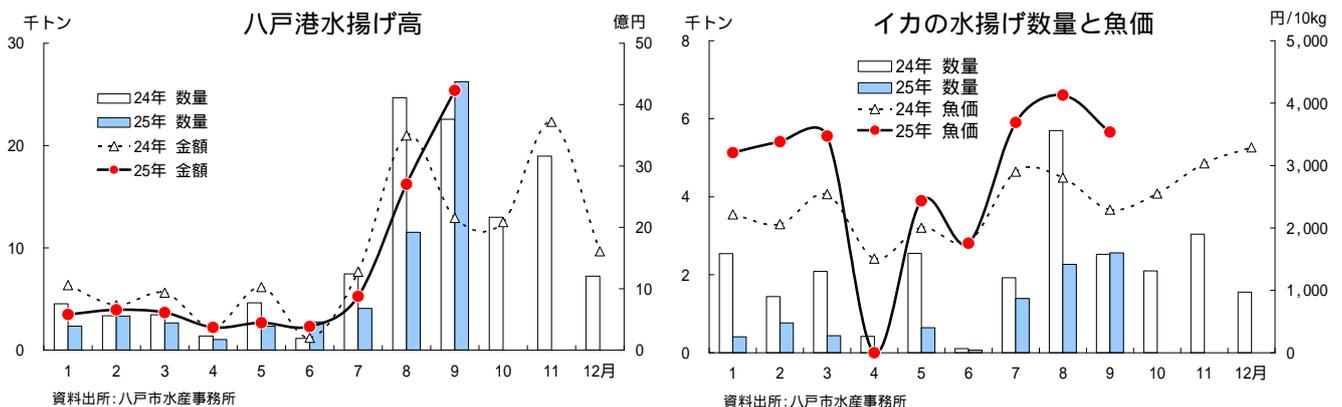


八戸港水揚げ

魚価上昇で金額が倍増、前年同月比96.4%増

9月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比16.2%増の2万6,242トン、金額が同96.4%増の21億5,530万円とほぼ倍増となった。

イカ釣り漁は船凍スルメイカの水揚げが幾分落ち込んだものの、近海スルメイカが増加し、数量が同1.4%増の2,561トンとなった。平均単価が品不足により同55.9%上昇の3,537円/10kgとなったことから、金額は同56.4%増の9億578万円と大幅に増加した。大中型旋網漁は遠海でのサバの水揚げが好調で数量が同15.1%増の2万295トン、金額は魚価の上昇により同100.9%増の25億8,374万円と倍増となった。機船底引き網漁は中型船によるスルメイカの水揚げが増加し、数量が同25.6%増の2,568トン、金額は同152.4%増の5億9,807万円と大幅に増加した。



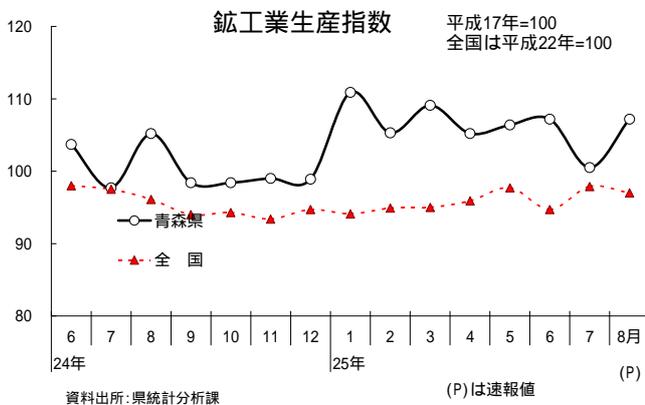
二次産業

鉱工業生産

鉱工業生産指数、前月比 6.7%上昇の 107.2

8月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成17年=100)は前月比6.7%上昇の107.2となった。主要6業種をみると、一般機械が同13.8%、鉄鋼が同11.8%、電気機械が同37.3%それぞれ上昇した。一方、ウェイトの高い食料品は同12.8%、電子部品・デバイスは同2.4%、パルプ・紙は同6.9%それぞれ低下した。このほかでは化学が同429.6%、金属製品が同1.5%上昇し、窯業・土石は同0.1%低下した。原指数では前年同月比1.1%上昇の107.0となった。

当月は一般機械、鉄鋼、電気機械、化学で前月比2ケタの伸びがみられ、全体を押し上げた。生産指数は8ヶ月連続で100を超えており、全体に高めの生産水準が続いている。



業種別生産指数(平成25年8月)

業種 ()内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原指数	
	平成17年=100	前月比(%)	平成17年=100	前年同月比(%)
鉱工業 (10000.0)	107.2	6.7	107.0	1.1
食料品 (2249.0)	84.8	12.8	88.9	20.8
一般機械 (1254.7)	149.6	13.8	132.0	5.9
電子部品・デバイス (1106.8)	144.3	2.4	144.7	9.4
鉄鋼 (1008.6)	110.2	11.8	107.6	6.5
パルプ・紙 (807.5)	77.8	6.9	80.2	16.5
電気機械 (530.4)	200.8	37.3	201.8	101.0

資料出所: 県統計分析課

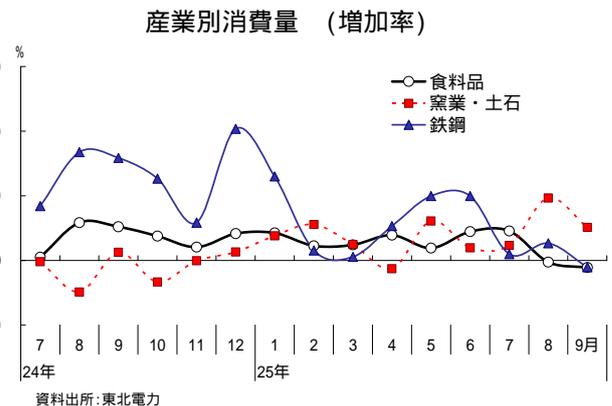
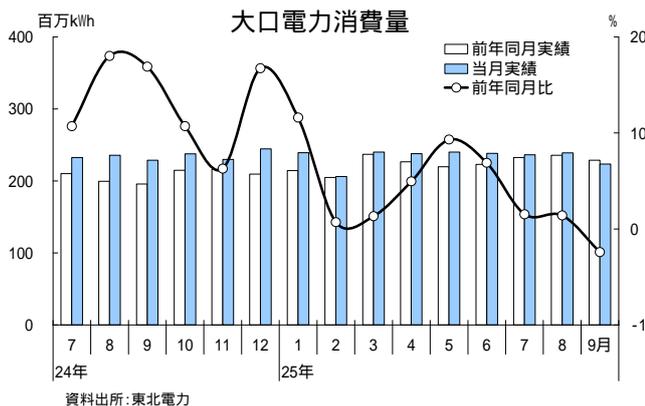
大口電力

大口電力消費量、20ヶ月ぶりのマイナス

9月の県内大口電力消費量は、前年同月比2.4%減の2億2,342万kWhとなり、20ヶ月ぶりのマイナスとなった。うち製造業は同0.9%減の1億6,273万kWhとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、化学が同33.3%減、パルプ・紙が同11.1%減、非鉄金属が同6.7%減、食料品が同2.2%減、消費ウェイトの高い鉄鋼が同2.1%減、機械が同1.6%減となった。一方、窯業・土石は同10.2%増となった。

当月の県内大口電力消費量は多くの業種で前年同月を幾分下回ったものの、食料品、鉄鋼、機械などは小幅な減少にとどまっており、全体としてはほぼ横ばい圏内の動きとなった。

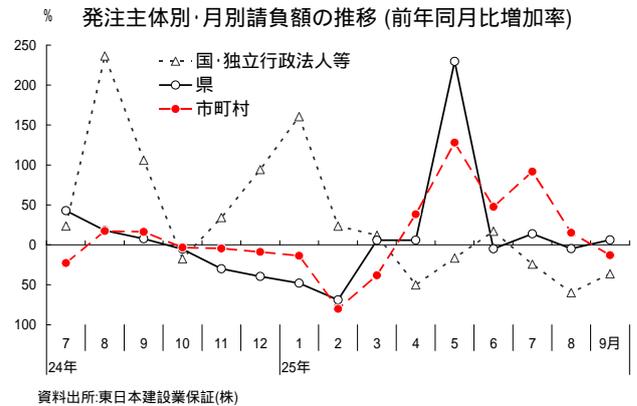
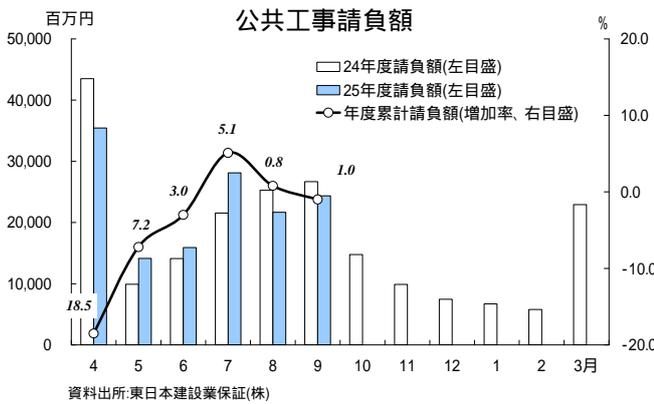


公共工事

前年同月比 8.7%減、2ヶ月連続のマイナス

9月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 8.7%減の 243 億 6,500 万円と 2ヶ月連続のマイナスとなった。当月の請負額は、国が防衛省、農林水産省、国土交通省の減少により同 34.0%減の 55 億 3,400 万円、独立行政法人等が弘前大学関連の減少により同 84.7%減の 6,000 万円、市町村が五戸町、野辺地町、八戸市などの減少により同 12.9%減の 47 億 400 万円とそれぞれ減少した。一方、県は県土整備部関連(三八地域県民局など)で減少したものの、農林水産部関連(西北地域県民局など)の増加により同 6.1%増の 127 億 2,000 万円となった。

平成 25 年度上半期(4~9 月)の累計請負額は県が前年同期比 13.2%増、市町村が同 38.7%となったものの、国が同 10.7%減、独立行政法人は新幹線関連の減少により同 62.6%減となり、全体では同 1.0%減の 1,396 億 3,700 万円と前年実績を幾分下回った。

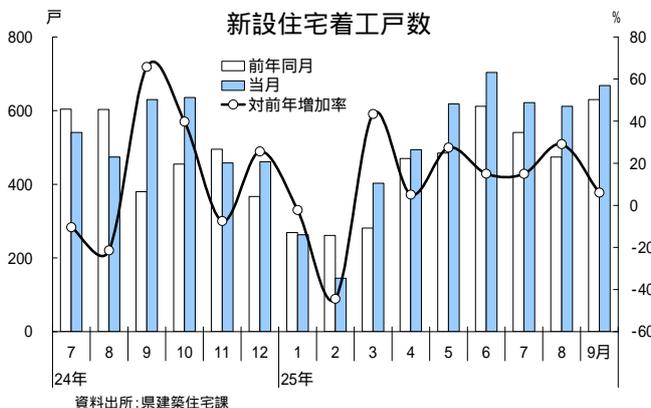


住宅着工

7ヶ月連続のプラス、前年同月比 6.0%増

9月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 6.0%増の 668 戸と 7ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別では、持家が同 5.9%増、貸家が同 8.5%増、分譲住宅が同 9.1%増となった。地域別にみると、弘前市、八戸市、五所川原市、十和田市、むつ市で減少したものの、青森市、黒石市、三沢市、つがる市、平川市、郡部で増加した。持家は黒石市、平川市、郡部などで増加した。貸家は青森市、三沢市、郡部などで増加した。分譲住宅は青森市、弘前市で増加した。

平成 25 年 1~9 月の累計着工戸数は、分譲住宅が前年同期比 32.0%となったものの、持家は同 20.7%増、貸家は同 8.0%増となった。全体では同 12.6%増の 4,529 戸(506 戸増)となり、前年を上回るペースで推移している。



利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	25年 9月	24年 9月	前年 同月比
持家	465	439	5.9
貸家	178	164	8.5
給与住宅	1	5	80.0
分譲住宅	24	22	9.1
総戸数	668	630	6.0

資料出所: 県建築住宅課

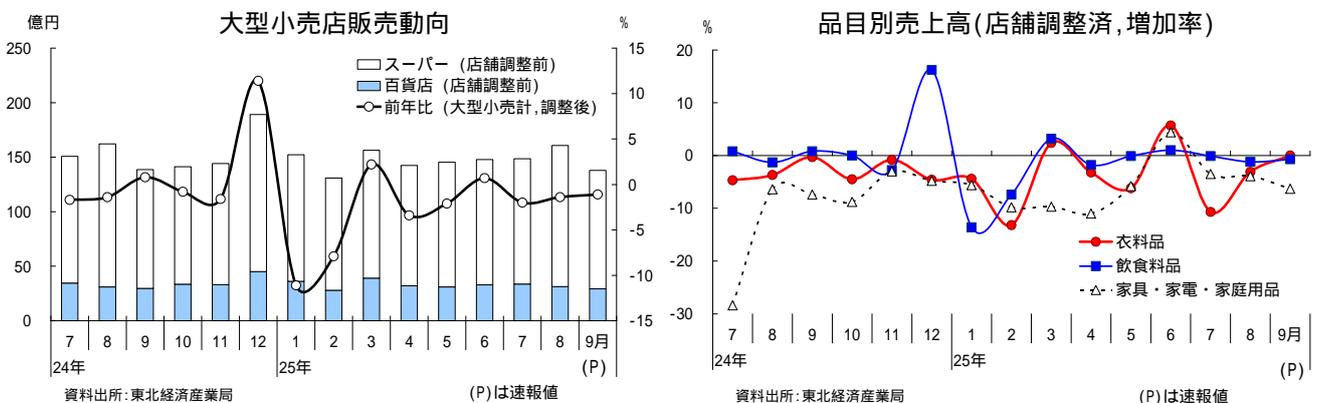
三次産業

大型小売店販売

3ヶ月連続マイナス、前年同月比1.1%減

9月の県内大型小売店販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比1.1%減と3ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同1.4%減、スーパーが同1.0%減となった。品目別では、衣料品が同横ばい、ウェイトの高い飲食料品が同0.7%減、家具・家電・家庭用品が同6.3%減、身の回り品は同3.9%増となった。

衣料品は秋物紳士服で動きがみられた一方で、婦人服が伸び悩んだ。百貨店が好調だったものの、スーパーは前年を下回る動きとなった。飲食料品は野菜、酒類などが伸び悩み前年を幾分下回った。家具・家電・家庭用品は暖房器具など家電製品の一部で動きがみられたものの、家具、家庭用品は伸び悩んだ。身の回り品はブライダル関連の装飾品などが好調であった。

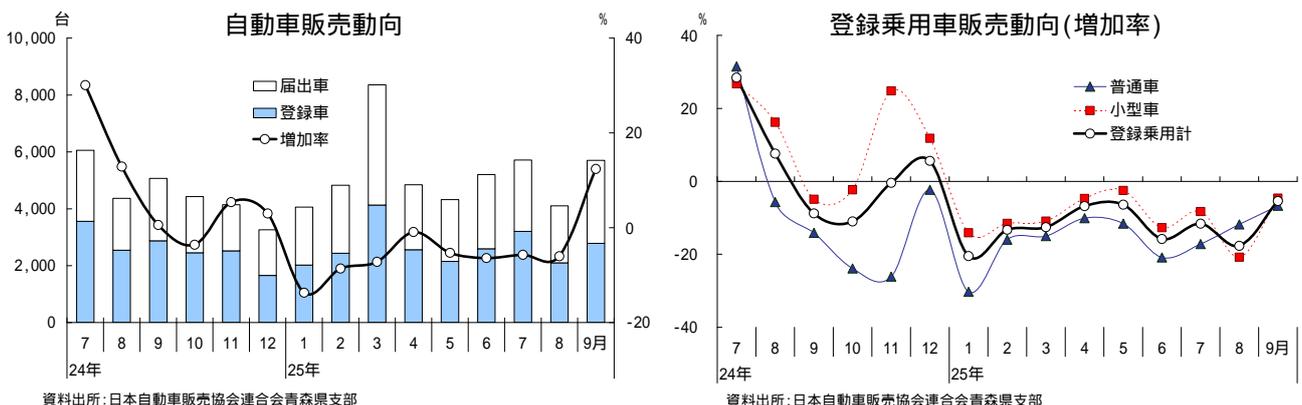


自動車販売

前年同月比12.4%増、9ヶ月ぶりのプラス

9月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比12.4%増の5,702台と9ヶ月ぶりのプラスとなった。内訳別にみると、登録車は貨物車が同10.6%増となったものの、普通乗用車は同6.7%減、小型乗用車は同4.6%減となり、登録車合計では同3.2%減と9ヶ月連続のマイナスとなった。届出車は乗用車が同36.9%増、貨物車が同20.7%増とそれぞれ大幅に増加し、届出車合計では同32.9%増と4ヶ月連続のプラスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同5.4%減となったものの、全体では同12.0%増と9ヶ月ぶりのプラスとなった。

平成25年1~9月の累計販売台数(登録・届出車合計)は4万7,139台となった。前年同期比では12.3%減であるが、過去10年間では4番目に多い台数であり、比較的堅調に推移している。



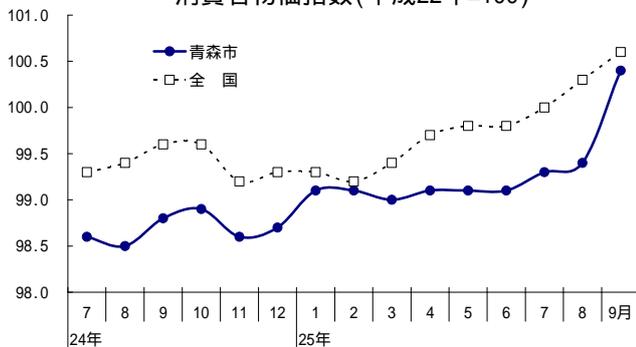
消費者物価指数

前月比 1.0%上昇、前年同月比 1.6%上昇の 100.4

9月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比1.0%上昇、前年同月比1.6%上昇の100.4となった。主要費目別に前月と比べると、「被服及び履物」がシャツ・セーター類などの値上がりにより4.2%、「光熱・水道」が電気代などの値上がりにより3.9%、「食料」が生鮮野菜、生鮮魚介などの値上がりにより2.0%上昇した。前年同月との比較では「光熱・水道」(8.2%)、「交通・通信」(2.8%)、「食料」(2.2%)、「家具・家事用品」(4.6%)などの変動が大きかった。

なお、「食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数」は前月比横ばい、前年同月比0.2%下落の97.6となっており、当月の物価指数上昇は食料、エネルギー関連の影響が大きかったことがうかがわれる。

消費者物価指数(平成22年=100)



資料出所:県統計分析課

費目別指数の動き(平成25年9月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	100.4	1.0	1.6
食料	98.7	2.0	2.2
住居	98.2	0.0	0.1
光熱・水道	117.0	3.9	8.2
家具・家事用品	88.5	0.2	4.6
被服及び履物	101.6	4.2	0.2
保健医療	97.8	0.2	1.6
交通・通信	104.4	0.1	2.8
教育	96.8	0.0	0.1
教養娯楽	91.5	1.2	0.4
諸雑費	104.0	0.1	0.1

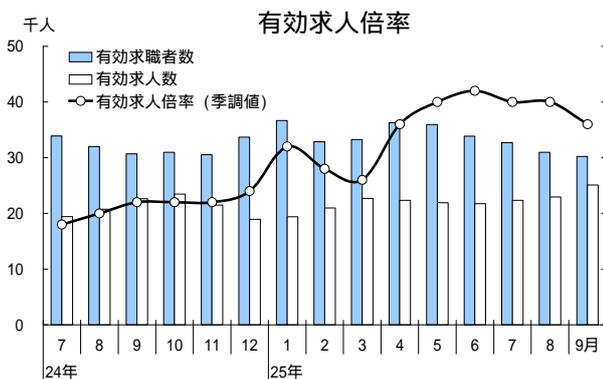
資料出所:県統計分析課

雇用動向

新規求人数、8年1ヶ月ぶりに1万人を超える

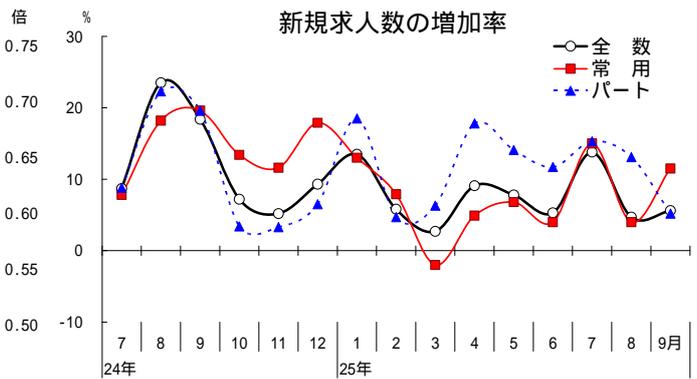
9月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比10.8%増の2万5,100人、有効求職者数は同1.5%減の3万223人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.02ポイント低下の0.68倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比11.5%増、パート求人数が同5.2%増、臨時・季節求人数は同10.2%減となった。全数では同5.6%増の1万340人と8年1ヶ月ぶりに1万人を超えた。主要産業別の新規求人動向では情報通信業、運輸業、郵便業などで減少がみられたものの、電気機械、情報通信機械などの製造業や卸売業、飲食サービス業、生活関連サービス業などで増加した。県内の雇用状況は有効求人倍率が5ヶ月ぶりに0.70倍台を下回ったものの、新規求人は好調に推移しており、県内全域で雇用状況の改善が続いている。

有効求人倍率



資料出所:青森労働局

新規求人数の増加率



資料出所:青森労働局

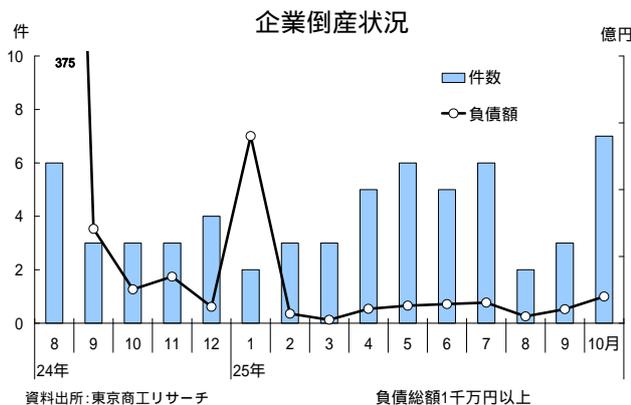
企業倒産

倒産件数、今年に入って最多の7件

10月の県内企業倒産は、件数が前年同月比4件増の7件、負債総額は同2億1,600万円減の7億9,800万円となった。前月比では件数が4件増、負債総額は3億7,800万円増となった。

倒産の内訳をみると、業種別では建設業、製造業、小売業、卸売業、金融・保険業、運輸業、情報通信業が各1件となった。地域別では八戸市が3件、青森市が2件、黒石市、東津軽郡が各1件となった。倒産要因は放漫経営、過小資本、販売不振が各2件、既往のシワ寄せが1件となった。

当月の県内企業倒産は、倒産件数が31ヶ月連続で1ケタ台にとどまったものの、小規模倒産が増加したことから今年に入って最多件数となった。



業種別・原因別件数 (平成25年10月)

業種	件数
一次産業・鉱業	
建設業	1
製造業	1
卸売業	1
小売業	1
金融・保険業	1
不動産業	
運輸業	1
情報通信業	1
サービス業 他	
合計	7

原因	件数
放漫経営	2
過小資本	2
他社倒産の余波	
既往のシワ寄せ	1
信用低下	
販売不振	2
売掛金回収難	
在庫状況悪化	
設備投資過大	
その他	
合計	7

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

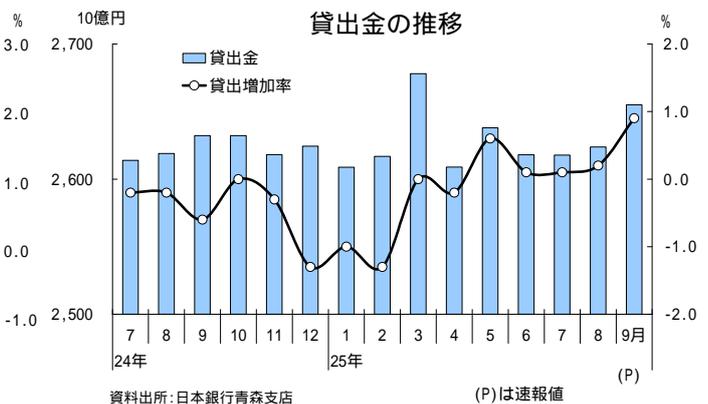
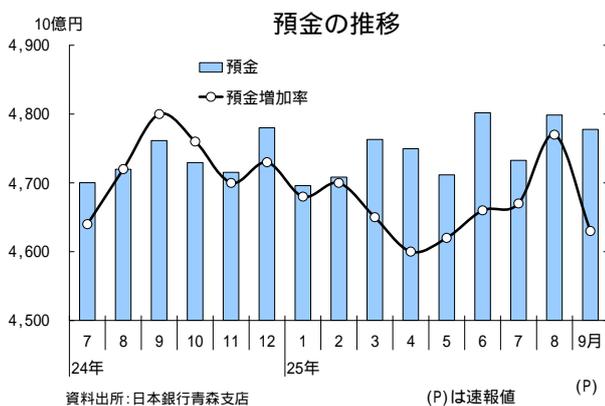
金融動向

預金、貸出金とも5ヶ月連続のプラス

9月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比0.3%増の4兆7,776億円、貸出金は同0.9%増の2兆6,550億円となり、ともに5ヶ月連続のプラスとなった。

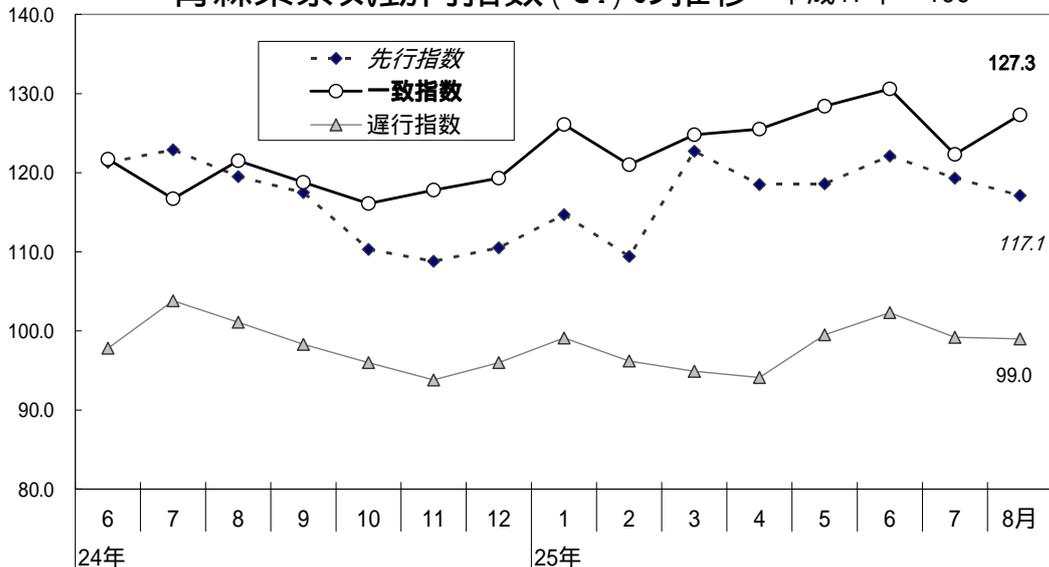
預金は個人預金のプラス幅が縮小したほか、法人預金は前月末が休日のため残高増となったこととの反動からプラス幅が縮小し、預金全体のプラス幅は前月比1.4ポイント縮小した。

一方、貸出金は個人向け、地公体向けのプラス幅が拡大したことから、貸出金全体のプラス幅は前月比0.7ポイント拡大した。



青森県景気動向指数

青森県景気動向指数(CI)の推移 平成17年 = 100



資料出所: 県統計分析課

一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを、マイナスを で表
下段: 寄与度

採用系列名	25年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
1. 大型小売店販売額(既存店)	2.66	2.47	0.51	1.18	1.44	0.21
2. 旅行取扱高	0.35	2.48	0.03	0.04	1.39	0.28
3. 鉱工業生産指数	1.01	1.07	0.33	0.22	1.93	1.90
4. 大口電力使用量	1.02	2.69	0.37	0.24	2.17	1.04
5. 有効求人倍率(全数)	0.92	1.96	1.24	0.44	1.09	0.34
6. 輸入通関実績(八戸港)	0.32	0.47	0.58	0.55	0.04	0.02
7. 東北自動車道IC利用台数	0.06	2.53	0.95	0.39	0.67	0.03

資料出所: 県統計分析課

景気動向指数(CI: Composite Index)とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

国内景気

概況

国内景気は、緩やかに回復しつつある。個人消費は持ち直し傾向にある。生産は緩やかに増加している。輸出は概ね横ばいとなっている。輸入はこのところ持ち直しの動きがみられる。貿易・サービス収支の赤字は横ばいとなっている。企業の業況判断はさらに改善している。雇用情勢は改善している。物価の動向を総合してみると、デフレ状況ではなくなりつつある。

大型小売店販売（既存店ベース）

- 3ヶ月ぶりのプラス、前年同月比0.7%増 -

9月の大型小売店販売は前年同月比0.7%増と3ヶ月ぶりのプラスとなった。業態別にみると、百貨店が同3.0%増、スーパーは同0.4%減となった。商品別にみると、衣料品が同2.8%増、飲食料品が同0.2%増、その他商品は同0.3%減となった。

住宅建設

- 13ヶ月連続のプラス -

9月の新設住宅着工戸数は前年同月比19.4%増の8万8,539戸と13ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別にみると、持家が同14.2%増と13ヶ月連続、貸家が同21.5%増と7ヶ月連続、分譲住宅が同23.5%増と5ヶ月連続のそれぞれプラスとなった。

企業倒産

- 倒産件数、1990年以来の低水準 -

9月の企業倒産は、件数が前年同月比11.9%減の820件、負債総額は同8.9%増の1,902億円となった。倒産件数は9月としては1990年以来の低水準となり、11ヶ月連続のマイナスとなった。負債総額は1,000億円の大型倒産が5件発生し、3ヶ月ぶりに前年同月を上回った。

為替動向

- 10月末終値98円33銭 -

10月の東京為替市場は97円台後半でスタート。上旬は米国の暫定予算案を巡るで野党協議難航などからドル売りの動きが強まり、一時96円台後半まで円高が進んだ。中旬以降は米国同法案の可決、日経平均株価の上昇などから円売りドル買いの動きがみられ、98円を挟んだ動きで推移。10月の変動幅は約1円50銭で比較的小幅であった。月末終値は98円33銭。

鉱工業生産指数

- 前月比1.5%上昇の98.5 -

9月の鉱工業生産指数は前月比1.5%上昇の98.5(季節調整値)となった。輸送機械、電子部品・デバイス、情報通信機械等が上昇に寄与。品目別では普通乗用車、アクティブ型液晶素子(中・小型)等であった。なお、生産予測調査によると、9月ははん用・生産用・業務用機械、情報通信機械等の上昇により当月比4.7%上昇の予測。

新車販売（除く軽自動車）

2ヶ月連続のプラス、前年同月比17.3%増

10月の国内新車販売は前年同月比17.3%増の26万4,587台と2ヶ月連続のプラスとなった。内訳別では、乗用車が同18.6%増、貨物車が同8.8%増となった。乗用車は普通乗用車が同27.4%増、小型乗用車が同11.7%増とそれぞれ2ヶ月連続のプラスとなった。

完全失業率

前月比0.1ポイント低下の4.0%

9月の完全失業率は前月比0.1ポイント低下の4.0%となった。完全失業者数は前年同月比17万人減の258万人となり、40ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、自己都合が同7万人減の93万人、勤め先や事業の都合が同13万人減の57万人などとなった。

消費者物価指数

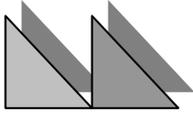
- 前月比0.3%上昇の100.6 -

9月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比0.3%上昇、前年同月比1.1%上昇の100.6となった。前月に比べ教養娯楽、交通・通信が下落したものの、食料、被服及び履物、光熱・水道などが上昇。生鮮食品を除く総合指数は前月比0.1%上昇、前年同月比0.7%上昇の100.5。

国際収支

- 経常収支、黒字幅が拡大 -

9月の経常収支額は黒字幅が拡大し、前年同月比14.3%増の5,873億円となった。貿易収支、経常移転収支の赤字幅が拡大したものの、所得収支の黒字幅が拡大したほか、サービス収支の赤字幅が縮小した。内訳は、所得収支が1兆6,279億円の黒字となった。一方、貿易収支は8,748億円、サービス収支は1,015億円、経常移転収支は643億円のそれぞれ赤字となった。



今月の統計

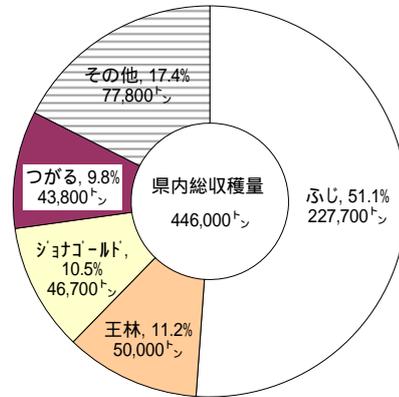
平成24年産 青森県産リンゴの概況

農

林水産省の調べによると、平成24年産の全国のリンゴ収穫量は、前年産比21.1%増の79万3,800トンと大幅に増加した。青森県産リンゴの収穫量は同21.3%増の44万6,000トンとなり、全国の56.2%を占めた。収穫量は23年産が花芽不足による着果量の減少などから大幅に落ち込んだものの、24年産はほぼ平年並みに回復した。

青森県産リンゴの収穫量を品種別にみると、「ふじ」が22万7,700トン(51.1%)と最も多く、次いで「王林」が5万(11.2%)、「ジョナゴールド」が4万6,700トン(10.5%)、「つがる」が4万3,800トン(9.8%)などの順となった。

平成24年産 青森県産リンゴの収穫量内訳

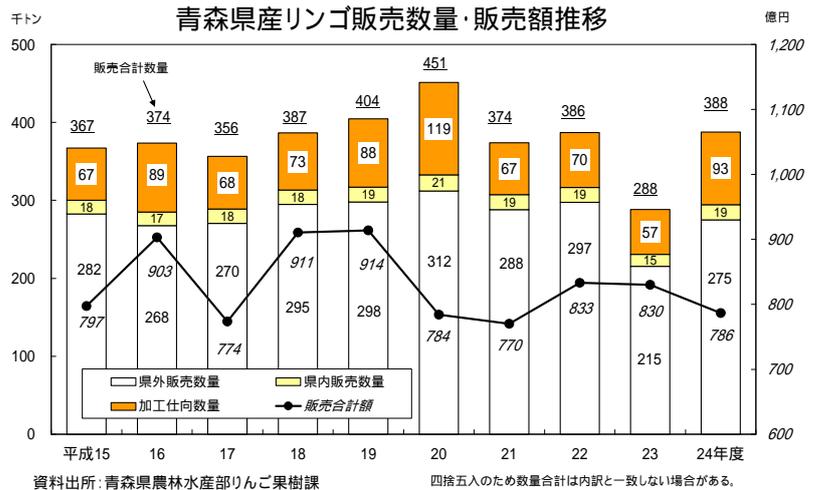


資料出所: 農林水産省農林水産統計

平成24年度(平成24年9月~25年8月)の県産リンゴの販売実績をみると、販売合計数量は前年度比34.5%増の38万7,705トンとなった。うち県外販売数量は同27.6%増の27万4,892トン、県内販売数量は同26.6%増の1万9,473トン、加工仕向数量は同62.4%増の9万3,340トンと、それぞれ前年度を大幅に上回った。

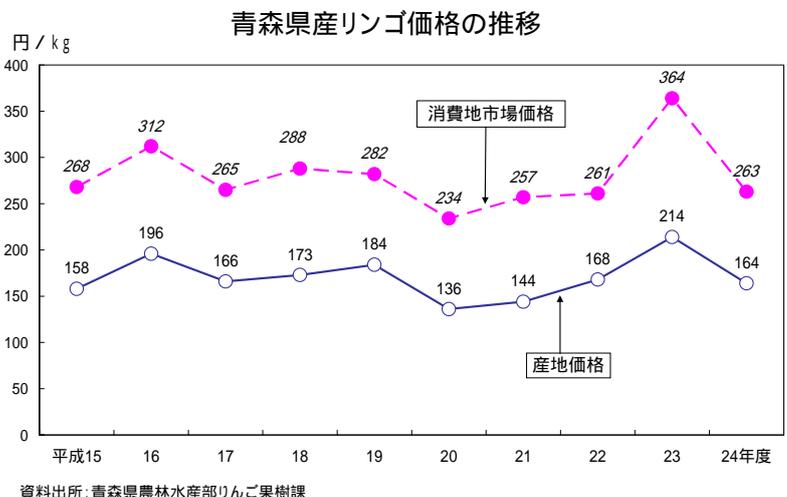
価格面をみると、全種平均産地価格が前年度比23.4%低下の164円/kg、同消費地市場価格は同27.7%低下の263円/kgと記録的な高値となった23年産から大幅に低下した。

この結果、24年産は前年産に比べ販売数量が増加したものの、価格の低下が響いたほか、単価の低い加工仕向のシェアが拡大したことなどから、販売合計金額は同5.2%減の786億46百万円と、前年産を下回った。



資料出所: 青森県農林水産部りんご果樹課

四捨五入のため数量合計は内訳と一致しない場合がある。



資料出所: 青森県農林水産部りんご果樹課

県内

- 2日 7月の生活保護世帯数 2万3,278世帯**
厚生労働省の発表によると、青森県の2013年7月時点での生活保護受給世帯数は前月比29世帯増の2万3,278世帯となった。全国では同5,213世帯増の158万8,521世帯と過去最高を更新した。
- 8日 2011年度の本県の赤字法人率 68.33%**
東京商工リサーチの発表によると、2011年度の都道府県別赤字法人率は全国平均で前年度比0.58ポイント低下の75.21%と4年ぶりに前年度を下回った。青森県の赤字法人率は同0.84ポイント低下の68.33%と3年連続で47都道府県中2番目の低さとなった。
- 21日 台風18号、被害総額は112億円超**
県のまとめによると、9月に日本列島を縦断した大型の台風18号による被害総額は10月21日15時現在で112億8,820万円となった。
- 22日 新規高卒者の県内求人倍率 1.12倍**
青森労働局のまとめによると、来春県内の高校を卒業する予定の生徒(新規高卒者)に対する県内企業の求人数(9月末現在)は前年同月比29.5%増(537人増)の2,357人と、過去10年間で最多となり、求人倍率は1.12倍と19年ぶりに1倍を超えた。
- 24日 医師臨床研修マッチング、県内病院への内定は71人**
県医療薬務課は2014年度に臨床研修を希望する卒業予定の医学生と研修病院の組み合わせを決める「医師臨床研修マッチング」の結果を公表した。県内の指定13病院での研修が内定した医学生は71人と前年度を5人下回ったが、過去2番目の多さとなった。
- 27日 八戸市長選、現職の小林氏が3選**
任期満了に伴う八戸市長選で、即日開票の結果、現職の小林眞氏が3選を果たした。投票率は28.48%で前回は22.72ポイント下回った。

国内

- 1日 消費税率8%への引き上げ、閣議決定**
政府は閣議で、2014年4月1日に消費税率を5%から8%へ引き上げることを決定した。消費税増税は1997年4月(3%→5%)以来17年ぶり。
- 8日 街角景気、6ヶ月ぶりに改善**
内閣府が発表した9月の景気ウォッチャー調査によると、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数は前月比1.6ポイント上昇の52.8となり、6ヶ月ぶりに改善した。
- 10日 機械受注、リーマン・ショック以来最大の8,193億円**
内閣府が発表した8月の機械受注統計(季節調整値)によると、民間設備投資の先行指標となる「船舶・電力を除く民需」の受注額は前月比5.4%増の8,193億円となり、リーマン・ショック以来最大となった。
- 11日 2013年上期の投信流入額、5兆円超**
投資信託協会が発表した9月の投資信託概況からのまとめによると、公募投資信託の2013年度上期(4-9月)の純資金流入額は前年同期比約4.5倍の5兆2,947億円となり、半期ベースで2007年度上期以来6年ぶりに5兆円を上回った。
- 21日 9月の貿易赤字9,321億円**
財務省が発表した9月の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は9,321億円の赤字となった。赤字は15ヶ月連続で過去最長となった。
- 日銀、東北を除く8地域の景気判断を下方修正**
日本銀行は10月の地域経済報告(さくらレポート)を発表し、全国9地域全ての景気判断を上方修正した。
- 24日 月例報告、基調判断を据え置き**
政府は10月の月例経済報告を発表し、景気の基調判断を前月と同じ「緩やかに回復しつつある」と据え置いた。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年=100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2007(H19)	754,389	545,043	417,639	1.945	14,091	57,279	114.6	1,060,741		211,988
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	110.7	1,093,519		209,511
2009(H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	86.5	788,410		197,758
2010(H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011(H23)	792,805	598,688	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012(H24)	809,455	613,690	433,824	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2012(H24) 7	809,465	604,151	425,035	1.403	1,026	7,241	97.5	75,421	11,165	17,123
8	808,736	603,259	424,583	1.401	967	2,166	96.1	77,500	12,367	15,568
9	806,118	610,343	430,975	1.385	931	1,746	94.0	74,176	13,083	14,700
10	807,704	604,370	427,233	1.383	1,035	2,394	94.3	84,251	12,622	15,672
11	810,887	607,174	428,035	1.378	964	2,638	93.4	80,145	10,270	16,630
12	838,665	613,690	733,823	1.364	890	2,083	94.7	75,944	11,485	21,048
2013(H25) 1	838,266	611,606	432,055	1.358	934	2,246	94.1	69,289	7,119	16,872
2	823,430	614,768	434,083	1.346	916	1,720	94.9	68,969	10,543	14,239
3	828,371	631,290	441,471	1.325	929	1,591	95.0	71,456	18,573	16,598
4	831,109	630,769	436,249	1.321	899	6,860	95.9	77,894	6,370	15,508
5	832,813	632,194	436,493	1.319	1,045	1,733	97.7	79,751	9,682	15,889
6	828,305	635,807	439,885	1.303	897	3,837	94.7	83,704	14,637	16,385
7	834,873	629,734	439,803	1.296	1,025	1,996	97.9	84,459	13,038	17,127
8	835,572	629,421	440,521	1.291	819	1,663	97.0	84,343	14,102	15,823
9	833,865				820	1,902	P 98.5	88,539	18,916	P 15,060
前月比 %	-0.2	0.0	0.2	-0.005% イト	0.1	14.4	1.5	5.0	34.1	1.0
前年同月比%	3.4	4.3	3.8	-0.110% イト	-11.9	8.9	5.4	19.4	44.6	0.7
資料出所	日本銀行			東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省		経済産業省	

企業倒産は負債額1千万円以上

鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

公共工事請負額は推計方法を変更、公表値のみ掲載

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年=100	消費者 物価指数 2010年=100	景気動向 指数 (一致) 2010年=100	完全 失業率 (季調整) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年未) (100万ドル)	東京 外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年=100)
2007(H19)	4,400	101.1	100.7	-	3.9	15,307.78	247,938	973,365	117.77	172.334
2008(H20)	4,228	105.7	102.1	-	4.0	8,859.56	163,798	1,030,647	103.39	147.854
2009(H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	132,867	1,049,397	93.61	153.228
2010(H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	171,706	1,096,185	87.75	168.232
2011(H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	95,507	1,295,841	79.76	165.195
2012(H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	11,138.66	47,036	1,267,299	79.79	169.679
2012(H24) 7	445	99.9	99.3	103.7	4.3	8,695.06	6,625	1,272,777	79.02	163.420
8	316	100.1	99.4	103.2	4.2	8,839.91	4,448	1,273,242	78.66	164.424
9	378	100.4	99.6	101.6	4.3	8,870.16	5,137	1,277,000	78.17	166.262
10	299	100.0	99.6	101.4	4.2	8,928.29	4,208	1,274,160	78.97	163.824
11	324	99.9	99.2	101.0	4.2	9,446.01	-1,796	1,270,848	80.87	166.279
12	284	100.3	99.3	102.7	4.3	10,395.18	-1,228	1,268,125	83.64	169.679
2013(H25) 1	323	100.5	99.3	103.0	4.2	11,138.66	-3,484	1,267,299	89.19	173.500
2	413	101.0	99.2	104.0	4.3	11,559.36	6,497	1,258,809	93.21	174.999
3	571	101.1	99.4	105.0	4.1	12,397.91	12,831	1,254,356	94.75	175.959
4	309	101.5	99.7	105.9	4.1	13,860.86	7,844	1,257,964	97.71	176.051
5	308	101.5	99.8	106.9	4.1	13,774.54	5,666	1,250,243	101.08	177.618
6	379	101.6	99.8	106.6	3.9	13,677.32	3,777	1,238,713	97.43	175.427
7	411	102.2	100.0	107.7	3.8	13,668.32	P 5,773	1,254,033	99.71	176.854
8	311	102.4	100.3	107.6	4.1	13,388.86	P 1,615	1,254,204	97.87	180.025
9	446	P 102.7	100.6	P 108.2	4.0	14,455.80	P 5,873	1,273,446	99.24	180.555
前月比 %	-22.7	0.3	0.3	0.6% イト	-0.1% イト	8.0	-	1.5	1.4	0.3
前年同月比%	-1.6	2.3	1.1	-	-0.3% イト	63.0	14.3	-0.3	27.0	8.6
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省		日本銀行	日経新聞社

日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入・転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2007(H19)	1,421,519	-9,993	-557	43,546	28,374	102	30,332	770,111	1,408
2008(H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2009(H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	475,903	1,093
2010(H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	462,688	705
2011(H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	471,228	550
2012(H24)	1,361,053	-5,311	-1,264	47,633	26,780	57	52,781	491,157	391
2012(H24) 7	1,351,462	-46	-57	47,003	26,139	5	1,330	44,160	32
8	1,350,937	134	-122	47,199	26,190	6	37,514	40,194	18
9	1,350,523	-109	-43	47,615	26,322	3	2,828	32,511	14
10	1,349,968	82	-193	47,295	26,322	3	1,014	47,412	28
11	1,349,295	11	-149	47,153	26,181	3	1,395	39,966	18
12	1,348,616	-159	-515	47,802	26,244	4	492	33,046	15
2013(H25) 1	1,347,650	-121	325	46,961	26,088	2	5,605	47,690	17
2	1,346,535	-274	-134	47,085	26,168	3	286	39,290	48
3	1,345,439	-5,670	-108	47,633	26,780	3	103	33,957	19
4	1,338,972	762	-208	47,496	26,089	5	435	53,238	150
5	1,339,044	-229	34	47,116	26,379	6	529	38,215	73
6	1,338,181	-55	-236	48,018	26,179	5	573	29,714	34
7	1,337,580	6	-64	47,328	26,177	6	620	44,702	76
8	1,337,098	74	-143	47,985	26,238	2	205	30,741	7
9	1,336,664	65	-95	P 47,776	P 26,550	3	420	48,855	31
10	1,336,206	-225	-225			7	798		
前月比 %	-0.0	-	-	-0.4	1.2	133.3	90.0	58.9	317.7
前年同月比%	-1.0	-	-	0.3	0.9	133.3	-21.3	50.3	128.7
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

日銀券の年次計数は年度累計
手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2005年 = 100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2007(H19)	110.2	6,139	3,562	2,188	687	188,540	66,071	0.70	0.48
2008(H20)	107.3	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009(H21)	88.1	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.53	0.29
2010(H22)	100.4	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.64	0.39
2011(H23)	97.1	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.75	0.46
2012(H24)	102.2	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.92	0.61
2012(H24) 7	97.7	541	355	115	60	21,531	6,653	0.88	0.59
8	105.2	474	336	120	53	25,262	7,651	0.91	0.60
9	98.4	630	439	164	71	26,697	11,988	0.90	0.61
10	98.4	636	320	266	61	14,771	5,331	0.88	0.61
11	99.0	458	287	136	49	9,899	2,676	0.88	0.61
12	98.9	461	225	205	43	7,490	1,807	0.90	0.62
2013(H25) 1	110.9	263	121	128	25	6,717	1,151	0.99	0.66
2	105.3	145	96	40	16	5,794	342	0.94	0.64
3	109.1	403	216	159	41	22,940	4,915	0.95	0.63
4	105.2	494	358	115	57	35,443	6,773	1.05	0.68
5	106.4	618	436	151	72	14,136	5,266	1.03	0.70
6	107.2	704	434	225	78	15,904	4,339	1.04	0.71
7	100.5	622	397	180	68	28,111	7,573	0.99	0.70
8	P 107.2	612	440	160	68	21,675	7,285	0.95	0.70
9		668	45	178	76	24,365	12,720	0.98	0.68
前月比 %	6.7	9.2	-89.8	11.3	11.6	12.4	74.6	0.03 ^ホ イト	-0.02 ^ホ イト
前年同月比%	1.1	6.0	-89.7	8.5	7.0	-8.7	6.1	0.08 ^ホ イト	0.07 ^ホ イト
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
公共工事請負額の年次の欄は年度計数

求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 リッチャー調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2007(H19)	172,288	29,096	44,637	100.0	286,305	-	18,495	-	-
2008(H20)	172,323	27,157	42,722	102.4	291,752	-	17,926	-	-
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,425	-	-
2012(H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,071	-	-
2012(H24) 7	15,071	3,562	4,999	98.6	264,972	9,334	1,003	50.3	} -3.5
8	16,224	2,544	3,474	98.5	280,611	9,292	1,114	-	
9	13,859	2,875	4,022	98.8	286,719	7,896	838	-	
10	14,129	2,455	3,534	98.9	268,574	7,576	833	44.0	} -2.3
11	14,413	2,519	3,330	98.6	250,439	7,292	827	-	
12	18,913	1,660	2,403	98.7	293,191	7,675	813	-	
2013(H25) 1	15,224	2,023	3,273	99.1	270,339	13,852	2,193	48.8	} -9.7
2	13,084	2,434	3,988	99.1	260,705	9,557	1,217	-	
3	15,635	4,132	6,814	99.0	314,484	8,150	975	-	
4	14,242	2,561	3,892	99.1	314,286	8,333	986	57.8	} -15.9
5	14,542	2,153	3,422	99.1	288,421	9,647	1,213	-	
6	14,778	2,595	4,188	99.1	266,040	8,788	961	-	
7	14,852	3,205	4,662	99.3	264,852	9,255	1,036	51.5	} 0.7
8	16,068	2,103	3,259	99.4	253,893	8,939	1,010	-	
9	P 13,790	2,784	4,503	100.4	238,310	7,801	812	-	
前月(期)比%	-	32.4	38.2	1.0	-6.1	-12.7	-19.7	-6.3ポイント	16.6ポイント
前年同月(期)比%	-1.1	-3.2	12.0	1.6	-16.9	-1.2	-3.2	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2007(H19)	297,834	282	184	146,385	24,442	10,837	65,441	127,210	172,534
2008(H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009(H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012(H24)	274,892	263	164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2012(H24) 7	7,291	487	-	7,440	1,278	546	1,183	4,902	11,112
8	1,825	526	-	24,688	3,498	520	1,892	11,109	10,200
9	16,052	299	171	22,576	2,155	455	1,678	7,985	8,474
10	24,727	246	162	12,995	2,086	691	1,018	9,545	10,823
11	20,706	248	179	18,970	3,719	407	3,880	8,825	8,962
12	23,238	280	144	7,234	16,110	693	2,950	4,764	13,631
2013(H25) 1	30,572	258	140	2,355	580	528	5,264	13,994	12,039
2	33,124	246	134	3,328	657	533	2,804	11,083	14,127
3	34,915	237	127	2,658	613	525	4,541	6,801	10,979
4	33,756	239	155	1,033	371	620	4,214	14,112	12,785
5	23,523	277	-	2,331	445	950	2,072	10,173	11,157
6	17,874	300	-	2,746	385	707	2,057	5,533	11,616
7	11,639	306	-	4,083	877	571	0	16,446	13,080
8	4,336	346	-	11,521	2,704	773	3,245	8,113	10,778
9	18,836	247	138	26,242	4,232	554	2,077	7,943	12,298
前月比 %	334.4	-28.6	-	127.8	117.5	-28.3	-36.0	-2.1	14.1
前年同月比%	17.3	-17.4	-19.3	16.2	96.4	21.7	23.8	-0.5	45.1
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数
	気温 (℃)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2012(H24)	10.5	1,295.5	1,669.1	18,765
2012(H24) 8	25.3	47.5	228.2	2,291
9	23.5	76.0	201.3	1,517
10	14.4	115.0	160.3	1,471
11	7.0	205.0	47.1	1,130
12	-0.5	100.5	41.3	1,287
2013(H25) 1	-2.4	127.0	49.3	1,546
2	-1.7	147.5	55.4	1,227
3	2.0	73.0	99.6	1,079
4	7.5	119.0	170.2	1,060
5	12.5	36.5	155.6	977
6	18.1	9.0	232.2	1,161
7	21.8	144.0	136.5	1,407
8	24.7	308.0	185.2	1,749
9	20.4	238.5	172.1	1,240
前月比 %	-4.3	-69.5ml	-13.17h	-29.1
前年同月比 %	-3.1	162.5ml	-29.2h	-18.3
資料出所	気象庁			外務省

県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2011 (H23)			
1~3月	-20.7	-31.6	-33.3
4~6月	-10.3	-33.3	-30.4
7~9月	-12.0	-43.6	-15.3
10~12月	2.5	-25.0	-6.3
2012 (H24)			
1~3月	16.3	-8.8	6.9
4~6月	15.9	-5.7	15.3
7~9月	0.0	-21.1	5.3
10~12月	0.0	-17.1	5.6
2013 (H25)			
1~3月	-23.3	-5.3	-1.9
4~6月	-24.0	-23.1	-3.6
7~9月	-6.3	5.7	3.7
10~12月	-8.3	-20.0	1.9
資料出所	青森銀行BSI('13.10~12月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2012(H24) 8	296,053	181,262	235,562	646	303	495	117	86	94
9	295,957	181,241	235,609	661	354	673	137	115	176
10	295,683	181,275	235,562	622	273	532	116	112	159
11	295,562	181,210	235,621	622	315	500	97	69	134
12	295,361	181,150	235,585	410	233	339	83	79	137
2013(H25) 1	295,145	181,057	235,506	512	219	430	68	10	86
2	294,901	180,908	235,427	587	292	509	10	13	73
3	294,667	180,767	235,346	1,105	487	717	108	33	72
4	292,815	179,449	234,256	589	243	600	119	62	124
5	293,749	180,088	234,376	495	261	438	182	73	110
6	293,602	180,072	234,299	645	310	513	200	90	173
7	293,503	179,953	234,266	842	367	706	141	106	124
8	293,531	179,933	234,253	486	246	460	151	79	112
9	293,422	179,803	234,203	640	308	574	147	106	121
10	293,219	179,831	234,124						
前月比 %	-0.1	0.0	-0.0	31.7	25.2	24.8	-2.6	34.2	8.0
前年同月比 %	-0.8	-0.8	-0.6	-3.2	-13.0	-14.7	7.3	-7.8	-31.3
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企 業 倒 産					
				青森市		弘前市		八戸市	
	青森市	弘前市	八戸市	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2012(H24) 8	0.48	0.61	0.71	2	37,268	0	0	2	61
9	0.51	0.73	0.78	0	0	1	28	2	2,800
10	0.53	0.72	0.82	1	66	1	648	0	0
11	0.51	0.58	0.75	2	1,242	0	0	0	0
12	0.39	0.43	0.61	0	0	2	142	0	0
2013(H25) 1	0.38	0.34	0.57	0	0	0	0	2	5,605
2	0.51	0.40	0.65	1	10	1	76	0	0
3	0.55	0.47	0.72	1	58	1	20	0	0
4	0.51	0.44	0.69	2	98	0	0	0	0
5	0.51	0.43	0.68	3	222	1	92	0	0
6	0.54	0.48	0.70	1	90	0	0	2	440
7	0.59	0.48	0.75	2	200	1	200	1	30
8	0.61	0.52	0.83	0	0	0	0	1	120
9	0.62	0.67	0.93	1	10	0	0	0	0
10				2	215	0	0	3	213
前月比 %	0.01 ポイント	0.15 ポイント	0.10 ポイント	100.0	2,050.0	-	-	-	-
前年同月比 %	0.11 ポイント	-0.06 ポイント	0.15 ポイント	100.0	225.8	-100.0	-100.0	-	-
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

有効求人倍率は原数値による